



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 大王製紙株式会社

上場取引所 東

コード番号 3880 URL <https://www.daio-paper.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長 社長執行役員（氏名）若林 頼房

問合せ先責任者（役職名）経理部長

（氏名）張能 太子（TEL）03 - 6856 - 7513

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日 2023年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	331,228	7.3	7,428	—	5,406	—	3,926	—
2023年3月期第2四半期	308,679	4.0	△7,265	—	△7,792	—	△8,301	—

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 13,443百万円（30.6%） 2023年3月期第2四半期 10,294百万円（△41.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	23.62	—
2023年3月期第2四半期	△50.02	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	971,093	257,133	25.3
2023年3月期	923,531	244,670	25.5

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 245,711百万円 2023年3月期 235,121百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
2024年3月期	—	7.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	9.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	670,000	3.7	14,000	—	8,000	—	1,000	—	6.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）H&PCブラジルS.A.

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	169,012,926株	2023年3月期	169,012,926株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,652,422株	2023年3月期	2,817,471株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	166,263,975株	2023年3月期2Q	165,968,470株

当社は、株式交付信託を用いた株式報酬制度及び従業員持株会信託を用いた従業員持株会信託型ESOPを導入しており、当該信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 四半期決算補足説明資料は、下記当社ウェブサイトに掲載を予定しています。  
[https://www.daio-paper.co.jp/ir/ir\\_news/](https://www.daio-paper.co.jp/ir/ir_news/)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴う経済活動の正常化により、個人消費やインバウンド需要、設備投資に回復の動きがみられました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や円安を起因とする原材料・エネルギー価格の高騰による物価上昇、さらには、世界的な金融引き締めによる世界経済の下振れ等が、国内の景気を押し下げるリスクは依然として高く、先行も不透明な状況です。

当社グループにおいては、当連結会計年度は、2021年度から2023年度までの3カ年計画である第4次中期事業計画の最終年度となります。

過酷な経営環境を乗り越えるために、これまで以上のスピードで紙・板紙事業からホーム&パーソナルケア事業への構造転換による「強靱な事業ポートフォリオの確立」を進めています。また、紙・板紙事業、ホーム&パーソナルケア事業のほぼ全ての製品における販売価格の維持や、主要工場でのエネルギー構成や生産体制の見直し、省力化を含む聖域なきコストダウンを着実に進めてまいります。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、以下のとおりです。

売上高	331,228百万円	(前年同四半期比 7.3%増)
営業利益	7,428百万円	(前年同四半期は営業損失△7,265百万円)
経常利益	5,406百万円	(前年同四半期は経常損失△7,792百万円)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,926百万円	(前年同四半期は親会社株主に帰属する 四半期純損失△8,301百万円)

セグメントの状況は、次のとおりです。

## ① 紙・板紙

売上高	174,638百万円	(前年同四半期比 5.3%増)
セグメント利益	8,586百万円	(前年同四半期はセグメント損失△3,933百万円)

紙・板紙事業においては、新聞用紙は、発行部数及び頁数の減少により販売数量は前年同期より減少しましたが、価格改定の浸透によって販売金額は前年同期を上回りました。

洋紙事業（新聞用紙を除く）は、更なるグラフィック用紙の需要減少によってチラシやパンフレット用途の洋紙を中心に販売数量は前年同期より減少しましたが、価格改定の浸透によって販売金額は前年同期を上回りました。

板紙・段ボールは、食料品や日用品の値上げによって国内需要は鈍化し、輸出についても中国をはじめとする国際市場の停滞による需要減により販売数量は前年同期を下回りましたが、国内での価格改定の浸透によって販売金額は前年同期を上回りました。

これらの結果、紙・板紙事業では、売上高及びセグメント利益は前年同期を上回りました。

## ② ホーム&amp;パーソナルケア

売上高	144,333百万円	(前年同四半期比 11.4%増)
セグメント損失(△)	△2,643百万円	(前年同四半期はセグメント損失△4,552百万円)

ホーム&パーソナルケア事業において国内事業では、衛生用紙は、ソフトパッキティッシュや長尺トイレット等、市場のニーズに応じた付加価値品の販売により販売数量は横ばいで推移し、価格改定の浸透により金額は前年同期を上回りました。紙加工品は、生活者の要望を反映した新商品やリニューアル品及び人気キャラクターを採用したデザイン企画品を連続して市場に投入し、好評を得ました。また、2023年9月に立ち上げた新ブランド「エリエール Pet キミおもい」によって、ペットケア市場に本格参入しており、配荷を進めています。

国内事業全体としては、新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴うマスクの需要減少等、市場環境の変化により販売数量が減少した商品カテゴリーがあったものの、価格改定の浸透によって販売金額は前年同期を上回りました。

海外事業では、ブラジルは、各商品の価格改定の浸透に加え、フェミニンケア、ベビーケア、紙製品等の高付加価値品上市によるプレミアム化の進行によって販売金額は前年同期を上回りました。また、トルコも、各商品の価格改定の浸透に加え、ベビーケア、ウエットティシュー、リキッド等の拡販によって販売金額は前年同期を上回りました。一方、中国は、同国経済低迷の長期化により、ロックダウン後の実店舗からECへの消費動向の急激な変化や、プレミアム品からスタンダード品へのシフト等の影響もあり、販売金額は前年同期を大きく下回りました。

これらの結果、ホーム&パーソナルケア事業では、国内事業・海外事業ともに売上高は前年同期を上回りましたが、セグメント利益は、中国事業における収益悪化の影響が大きく、セグメント損失となりました。

③ その他

売上高 12,255百万円 (前年同四半期比 8.6%減)  
セグメント利益 1,455百万円 (前年同四半期比 21.2%増)

主に売電事業、機械事業、木材事業及び物流事業であり、売電事業の外部向けの販売減少等により、売上高は前年同期を下回りました。

<主要品種別販売数量・金額増減要因>

紙・板紙セグメント

品種	数量	金額	動向
新聞用紙	－	＋	新聞発行部数及び頁数の減少、価格改定の浸透
洋紙	－	＋	印刷・情報用紙の需要減少、価格改定の浸透
板紙・段ボール	－	＋	段ボール等の需要減少、価格改定の浸透

ホーム&パーソナルケアセグメント (国内)

品種	数量	金額	動向
衛生用紙	→	＋	ソフトパケットティシュー、長尺トイレット等の付加価値品の販売伸長、価格改定の浸透
ベビーケア	－	＋	少子化に伴う需要減少、企画品の販売伸長、価格改定の浸透
大人用ケア	＋	＋	高付加価値パッドの販売伸長、価格改定の浸透
フェミニンケア	－	＋	価格改定に伴う販売減少、価格改定の浸透
ウエットティシュー	＋	－	新商品・トイレクリーナー詰替大容量の販売伸長
ペットケア	＋	＋	ペット市場に本格参入

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や受取手形、売掛金及び契約資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ47,561百万円増加し、971,093百万円となりました。

負債は長期借入金やコマーシャル・ペーパーの増加等により、前連結会計年度末に比べ35,098百万円増加し、713,959百万円となりました。

純資産は為替換算調整勘定や利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ12,462百万円増加し、257,133百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.2ポイント低下し、25.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表しました連結業績予想を以下のとおり修正しました。詳細については、2023年11月10日発表の「第2四半期業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2024年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値の差異 (2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	330,000	5,000	1,500	1,000	6.02
今回発表実績 (B)	331,228	7,428	5,406	3,926	23.62
増減額 (B-A)	1,228	2,428	3,906	2,926	
増減率 (%)	0.4	48.6	260.4	292.6	
(ご参考) 前第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	308,679	△7,265	△7,792	△8,301	△50.02

## 2024年3月期通期連結業績予想の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	700,000	18,000	9,000	4,000	24.06
今回発表予想 (B)	670,000	14,000	8,000	1,000	6.01
増減額 (B-A)	△30,000	△4,000	△1,000	△3,000	
増減率 (%)	△4.3	△22.2	△11.1	△75.0	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	646,213	△21,441	△24,050	△34,705	△209.01

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	102,638	128,039
受取手形、売掛金及び契約資産	106,851	120,942
電子記録債権	10,753	12,883
棚卸資産	113,090	123,856
その他	22,003	17,702
貸倒引当金	△279	△155
流動資産合計	355,058	403,269
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	104,544	105,664
機械装置及び運搬具（純額）	202,639	208,410
土地	87,099	88,044
その他（純額）	37,823	31,503
有形固定資産合計	432,106	433,622
無形固定資産		
のれん	45,847	47,807
その他	38,619	38,273
無形固定資産合計	84,466	86,081
投資その他の資産	51,800	48,035
固定資産合計	568,373	567,740
繰延資産	99	83
資産合計	923,531	971,093

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,167	88,498
コマーシャル・ペーパー	20,000	30,000
短期借入金	13,659	13,658
1年内償還予定の社債	56	164
1年内返済予定の長期借入金	78,812	80,820
未払法人税等	1,472	4,169
引当金	5,852	5,450
その他	44,776	50,902
流動負債合計	252,797	273,663
固定負債		
社債	45,136	45,000
長期借入金	324,000	337,492
退職給付に係る負債	23,986	24,274
引当金	1,061	672
その他	31,879	32,855
固定負債合計	426,063	440,295
負債合計	678,860	713,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,884	53,884
資本剰余金	55,112	55,112
利益剰余金	117,493	120,156
自己株式	△3,600	△3,293
株主資本合計	222,890	225,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,968	4,248
繰延ヘッジ損益	329	△125
為替換算調整勘定	6,907	14,853
退職給付に係る調整累計額	1,026	876
その他の包括利益累計額合計	12,231	19,852
非支配株主持分	9,549	11,421
純資産合計	244,670	257,133
負債純資産合計	923,531	971,093



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	308,679	331,228
売上原価	250,160	260,662
売上総利益	58,519	70,565
販売費及び一般管理費	65,784	63,137
営業利益又は営業損失(△)	△7,265	7,428
営業外収益		
受取利息	278	507
受取配当金	770	237
持分法による投資利益	95	42
為替差益	1,923	891
正味貨幣持高に関する利得	—	573
その他	1,274	1,780
営業外収益合計	4,342	4,033
営業外費用		
支払利息	2,577	3,273
デリバティブ評価損	390	2,009
正味貨幣持高に関する損失	871	—
その他	1,030	772
営業外費用合計	4,869	6,056
経常利益又は経常損失(△)	△7,792	5,406
特別利益		
固定資産売却益	46	35
投資有価証券売却益	1,445	3,105
国庫補助金	167	114
受取保険金	78	883
その他	4	0
特別利益合計	1,742	4,138
特別損失		
固定資産除売却損	709	312
災害による損失	1,921	435
固定資産圧縮損	160	96
その他	16	31
特別損失合計	2,807	875
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△8,857	8,668
法人税、住民税及び事業税	917	3,386
法人税等還付税額	△154	—
法人税等調整額	△748	829
法人税等合計	14	4,216
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,872	4,452
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△571	526
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,301	3,926

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,872	4,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△705	257
繰延ヘッジ損益	100	△576
為替換算調整勘定	19,909	9,433
退職給付に係る調整額	△125	△146
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	21
その他の包括利益合計	19,166	8,990
四半期包括利益	10,294	13,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,931	11,547
非支配株主に係る四半期包括利益	1,363	1,896

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

<紙・板紙事業>

該当事項はありません。

<ホーム&パーソナルケア事業>

2023年7月19日付で、エリエール・インターナショナル・ベトナムCO., LTD. を新設し、第2四半期連結会計期間末より新たに連結子会社としています。

2023年8月31日付で、H&PCブラジルS. A. は、サンテルS. A. に吸収合併され消滅しています。

<その他事業>

2023年4月1日付で、ダイオーエクスプレス株式会社は、ダイオーロジスティクス株式会社に吸収合併され消滅しています。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙・板紙	ホーム& パーソナル ケア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	165,770	129,505	295,275	13,403	308,679	—	308,679
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,980	1,159	10,139	38,913	49,053	△49,053	—
計	174,750	130,665	305,415	52,317	357,733	△49,053	308,679
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△3,933	△4,552	△8,486	1,200	△7,285	20	△7,265

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、造林事業、機械事業、物流事業、売電事業、ゴルフ場事業及び不動産賃貸事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去に係る調整額です。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	紙・板紙	ホーム& パーソナル ケア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	174,638	144,333	318,972	12,255	331,228	—	331,228
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,169	991	8,160	40,643	48,804	△48,804	—
計	181,808	145,324	327,133	52,899	380,032	△48,804	331,228
セグメント利益又は セグメント損失(△)	8,586	△2,643	5,943	1,455	7,398	29	7,428

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、造林事業、機械事業、物流事業、売電事業、ゴルフ場事業及び不動産賃貸事業等を含んでいます。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去に係る調整額です。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

4. 第1四半期連結会計期間より一部管理方法の変更を行っています。